

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 史学専攻 民族学考古学分野

#### 3つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

史学専攻民族学考古学分野では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として以下のものを定め、学則に従って修了要件を満たし、修士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、修士（史学）の学位を与える。

1. 民族学・考古学研究、あるいは関連分野に関する修士論文を執筆して審査に合格し、その領域の研究に貢献することができる。
2. 民族学・考古学研究の分野全般に関する専門知識を身につけ、外国語（英語）文献も含めて専門的なリサーチを展開し、その成果を論理的に発表することができる。
3. 民族学・考古学研究を通じて人類文化の多様な特性を理解し、その歴史的変遷と課題を正確に認識し、それを解決していくための議論や実践に資するリサーチ能力、プレゼンテーション能力を身につけている。また、そのような批判的分析能力を備えた社会人、研究者、教育者として社会に貢献することができる。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

史学専攻民族学考古学分野では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 民族学・考古学研究の領域において、日本考古学、西アジア考古学、動物考古学、オセアニア民族学・考古学、博物館学を対象とした講義演習科目群を設置するとともに、それらの関連科目も開講することで、研究を展開するために必要な専門知識、リサーチ能力、一次資料分析能力、思考力および議論構成力を養成する。またこれらの科目の一部を英語で開講することで、英語によるプレゼンテーション能力を養う。
2. 修士論文の執筆を可能とするため、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行い、研究テーマについての知識を深めるとともに、高度なリサーチ能力および論理的記述能力を養う。また、修士論文中間報告を中心とした専攻全体のゼミナールを通して、複数の教員から指導を受ける機会を提供する。
3. 民族学・考古学研究に関わるフィールド調査能力を身につけるために、教員たちによって組織される国内外の調査に参加することを推奨する。また、その調査成果の

記録、発表にも携わることで、資料の記録、分析、発表能力を養う。

## 【アドミッション・ポリシー】

史学専攻民族学考古学分野では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 民族学・考古学の領域全般についての基礎知識を有しており、卒業論文執筆や専門科目の履修等を通じて自身の専門領域についての深い理解を有している。
2. 大学院において、何を、どのような方法で研究するのかという研究計画を自ら考え、論理的に提示することができる。
3. 民族学・考古学の一次資料を正確に記録、分析し、批判的に検討する基礎的能力を有している。また、日本語および英語文献を正確かつ批判的に読むことができる基礎的な読解力と学術的な論述能力を身につけている。
4. 修士課程修了後の社会人、研究者、教育者としてのキャリアについて、積極的に考えている。